

第 9 回厚生科学審議会感染症部会 薬剤耐性 (AMR) 小委員会

ペニシリン耐性肺炎球菌 (Penicillin-resistant *Streptococcus pneumoniae* : PRSP) 感染症

厚生労働省健康・生活衛生局 感染症対策部

背景：PRSP（定点把握疾患）の発生動向監視の必要性

現状①：感染症発生動向調査

表 16 基幹定点医療機関からの届出対象疾患の推移、2013-2021（件）

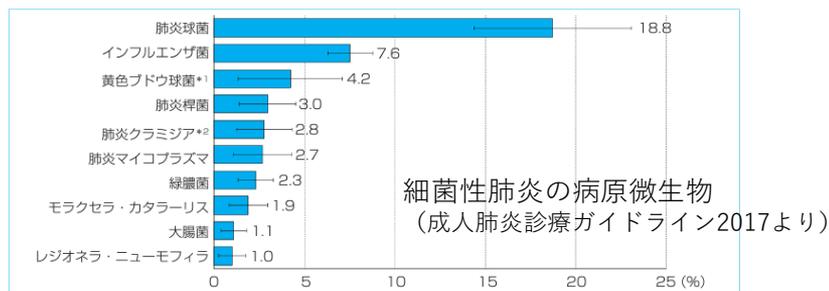
年		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
PRSP	報告数	3,161	2,292	2,057	2,017	2,001	1,895	1,754	879	846
	定点当たり	6.65	4.79	4.29	4.21	4.18	3.94	3.65	1.84	1.77

- 2019以前の減少傾向は肺炎球菌ワクチンの導入による届け出対象菌株の検出数減少を反映していると思われる。
- 2020、2021年の減少はコロナパンデミックの影響があり、今後再増加が見込まれる。

現状②：死因と肺炎の原因菌

年齢階級	第1位				第2位				第3位				第4位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
65～69	悪性新生物	39 360	471.8	48.0	心疾患	10 089	120.9	12.3	脳血管疾患	6 763	81.1	8.2	肺炎	3 264	39.1	4.0
70～74	悪性新生物	47 866	695.8	43.7	心疾患	14 226	206.8	13.0	脳血管疾患	10 128	147.2	9.2	肺炎	6 477	94.2	5.9
75～79	悪性新生物	59 945	1 035.1	37.6	心疾患	22 611	390.5	14.2	脳血管疾患	16 887	291.6	10.6	肺炎	13 206	228.0	8.3
80～84	悪性新生物	59 587	1 411.7	29.6	心疾患	32 497	769.9	16.1	脳血管疾患	23 318	552.4	11.6	肺炎	23 000	544.9	11.4
85～89	悪性新生物	40 706	1 752.3	21.4	心疾患	35 558	1 530.7	18.7	肺炎	26 498	1 140.7	14.0	脳血管疾患	24 021	1 034.1	12.6
90～94	心疾患	28 397	2 939.6	20.3	肺炎	22 166	2 294.6	15.9	悪性新生物	20 367	2 108.4	14.6	脳血管疾患	17 848	1 847.6	12.8
95～99	心疾患	14 188	4 547.4	20.9	肺炎	11 174	3 581.4	16.5	老衰	10 459	3 352.2	15.4	脳血管疾患	8 209	2 631.1	12.1
100歳以上	老衰	3 938	8 204.2	26.3	心疾患	2 914	6 070.8	19.5	肺炎	2 451	5 106.3	16.4	脳血管疾患	1 475	3 072.9	9.9

令和4年人口動態月報年計



- 肺炎は高齢者の死亡原因の上位。
- 肺炎球菌は肺炎の原因菌の1位。

図1 国内9研究（市中肺炎3,077症例）、上位10病原微生物（メタアナリシスにより95%信頼区間を追加）

1. 現行の届出基準

	ディスク拡散法 (mm)		微量液体希釈法 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	
	髄膜炎	髄膜炎以外	髄膜炎	髄膜炎以外
CLSI ^{*1}	None		≥ 0.125	≥ 8
EUCAST ^{*2}	None		> 0.06	> 2
JANIS ^{*3}	None		≥ 0.125	≥ 0.125
	無菌	無菌検体以外	無菌	無菌検体以外
感染症発生動向調査	None		≥ 0.125	≥ 0.125

^{*1} CLSI2023 (M100-Ed33), ^{*2} EUCAST v14.0 (1 Jan, 2024), ^{*3} 判定基準 (Ver.3.2)

2. 届出基準の変更（案）

アクションプラン目標2 戦略2.1 に基づき、CLSI や EUCAST 等の国際基準と統一するため、**PRSP 感染症の届出基準を以下の通りとしてはどうか（下表）。**

- ・ 無菌検体（血液・髄液等）から検出された場合：
MIC 0.125 $\mu\text{g}/\text{mL}$ 以上（現状維持）
- ・ 無菌検体以外（喀痰等）から検出された場合：
8 $\mu\text{g}/\text{mL}$ 以上、（もしくは 4 $\mu\text{g}/\text{mL}$ 以上）に変更

	ディスク拡散法 (mm)		微量液体希釈法 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	
	無菌	無菌検体以外	無菌	無菌検体以外
感染症発生動向調査	None		≥ 0.125	≥ 8 (CLSI) もしくは、 ≥ 4 (EUCAST)

※ 届出基準を変更した場合、小児は約 1/10 程度、成人は 1/6 程度に減少すると推定されるため、全体としては **40~50% 程度に減少**することが予測される。